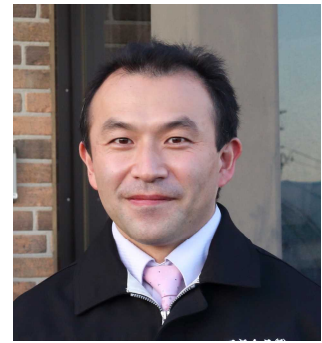


6次産業化部門

宮城県亘理郡山元町 田所食品株式会社
(代表取締役：田所^{たどころ}大樹^{だいじゆ}氏)



- 経営規模：1.75ha（ぶどう1.4ha、りんご0.2ha、トマト0.1ha、クリ0.05ha）

(注) 数字は令和元年当時のもの

経営展開のポイント

- ・ 前身の田所商店は大正7年創業。自家生産したぶどうや地域の原料を使用したジュースを加工販売。平成23年の東日本大震災の大津波で、所有していたぶどう農園と工場が全て流出し廃業の危機に追い込まれたが、復興補助金等を活用し、農園と工場の復旧に併せ「田所食品株式会社」として法人化し事業を再建。
- ・ 山ぶどうを原料とした飲料ジュースの加工販売のほか、東北一の生産量を誇る亘理地域のいちごを活用したストレート果汁100%のジュースを開発し、県内だけでなく、首都圏にも販路を広げ、地域の知名度が向上。また、酒造メーカーや航空会社の機内食など様々な業態とのコラボレーションを展開。
- ・ 搾汁や加圧殺菌を備えた工場では、りんごの搾汁の受託加工を行っており、資源の有効活用及び地域の農業者の所得向上の一助となっている。
- ・ 新事業として、加工用ぶどう栽培に加え、生食用ぶどう栽培の取組を開始。自社ブランド「Domaine MARUTA」として商品販売を展開。
- ・ 平成30年からはぶどうの観光農園と直売所を設置し、経営を多角化。ぶどうの収穫体験は非常に人気が高く、土日のみの営業にかかわらず昨年度は約15,000人が来場。過疎化が進展する中、他業者と連携し、地域の存続を図る姿勢は、地域を担う経営体のモデルケースである。